

科目コード	2697254	授業概要	【授業内容】 山口には中国山地の入り口として暖温帯の林が広がり、多様な環境ストレス下で樹木が生育しています。本授業では、構内の植物の葉、山口の天然記念物調査を通して、樹木の形態的規則性や光・水などの環境要因への適応戦略を学びます。あわせて山口の産業である茶に着目し、製茶実習や成分・味の分析を通じて、樹木生理と利用を科学的に理解します。
学習センター	山口学習センター		【到達目標】 学生は樹木の形や生理機能の関係を実測データに基づいて理解し、さらに地域に適応した樹種（山口の天然記念物を含む）の特徴について説明できるようになる。また、学生は山口の産業としてのお茶に焦点をあて、茶の栽培と主要成分・味との関係を科学的に説明できるようになる。
学習センターコード	35A		【授業テーマ】 第1回 植物としての樹木 第2回 樹木の形からみた規則性 第3回 樹木と森の生存 1（山口の天然記念物を含む） 第4回 樹木と森の生存 2（山口の天然記念物を含む） 第5回 茶とチャノキの歴史 第6回 茶の科学 第7回 お茶づくり 第8回 山口のお茶
クラスコード	K		【学生へのメッセージ】 科学的な視点を持つことで、今まで結びつかなかったものが繋がり、新しい世界が見えることがあります。本講義により、多様な視点をもってもらえればと思います。
科目名	森と茶の科学		【受講前の準備学習等】 1日目は樹木について学びます。普段、何気なく接してる樹木が、どのような環境で生育しているかについて、少しだけ目を向けてください。また、2日目に茶の試飲や製茶を行います。普段どのような場面で茶が飲まれているのか、家で飲む茶の味や雰囲気をよく観察しておいてください。
科目区分	専門科目：自然と環境		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
ナンバリング	310	実施会場	【受講者が当日用意するもの】 当日は、製茶などを行います。茶のアレルギーなどがありましたら、事前に相談してください。
定員	30名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	シバタ マサル 柴田 勝 山口大学教授		【その他（特記事項）】 この授業は実習を伴います。「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月22日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		